

期日	令和7年11月21日（金） 13:30～		
会場	石狩教育研修センター		
日程	<p>（1）開会式</p> <p>13:30 ①開式の言葉 石狩管内小中学校教頭会監査 杉原 大樹</p> <p>②国歌斉唱</p> <p>③主催者挨拶 北海道公立学校教頭会長 照井 志暢</p> <p>④来賓挨拶 北海道教育庁石狩教育局次長 田中 猛之 様</p> <p>北広島市教育委員会教育長 吉田 智樹 様</p> <p>石狩管内小中学校校長会長 千葉 則理 様</p> <p>⑤閉式の言葉 石狩管内小中学校教頭会監査 武田 純子</p>		
14:00	<p>（2）研究協議①</p> <p>①各地区教頭会の活動</p> <p>ア 小樽市教頭会研究推進部 福木 直人</p> <p>イ 後志小中学校教頭会副会長 赤松 瑞枝</p> <p>ウ 石狩管内小中学校教頭会副会長 平沼 敦</p>		
15:00	<p>（3）講演</p> <p>①講師紹介</p> <p>②講師</p> <p>株式会社ファイターズスポーツ&エンターテインメント</p> <p>開発本部開発・企画統括部事業企画部部長 酒井 恭佑 様</p> <p>演題：「HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE</p> <p>～多様なパートナーと共につくる共同創造空間～」</p> <p>③謝辞 石狩管内小中学校教頭会副会長 木村 大輔</p>		
16:05	<p>（4）研究協議②</p> <p>北海道公立学校教頭会の活動</p> <p>ア 一般会務報告・要請活動報告・会計中間決算報告 次長 鞍貫 耕平</p> <p>イ 各部活動内容報告</p> <p>a 研修部・b 組織部 組織部 齊藤 敏弘</p> <p>c 調査部・d 広報部 広報部 笹野 直人</p>		
16:25	<p>（5）閉会式</p> <p>①開式の言葉 石狩管内小中学校教頭会監査 杉原 大樹</p> <p>②主催者挨拶 第1ブロック長 佐藤 初実</p> <p>③主管者挨拶 石狩管内小中学校教頭会長 舟崎 洋史</p> <p>④閉式の言葉 石狩管内小中学校教頭会監査 武田 純子</p>		
参加 人数	<p>計 51 名</p> <p>○来賓・講師 計 4 名</p> <p>○北海道公立学校教頭会 計 4 名</p> <p>照井志暢（会長）、鞍貫耕平（次長）、齊藤敏弘（組織部）、笹野直人（広報部）</p> <p>○石狩管内小中学校教頭会 23名 ○後志小中学校教頭 10名 ○小樽市教頭会 10名</p>		
その他 協議 内容	<p>○研究協議① 各地区教頭会の発表におけるキーワード等</p> <p>小樽「小樽市教育推進計画との関連を明確にする」「『委ねて束ねる』の視点で関与」</p> <p>後志「小中高連携・義務教育学校」「組織・職員室づくり・人材育成」「働き方改革」</p> <p>石狩「副題の設定」「校長会と調整」「人材育成シートで自校の育成対象教員を決定」</p>		
講演 内容等	<p>○本講演の主題は、多様なパートナーと共に地域社会の活性化や社会貢献を目指す「共同創造空間」の構築についてであった。様々な物的・人的資源を有機的に結びつけ、事業を成長させていくそのプロセスは、学校教育におけるカリキュラム・マネジメントに通底するものであった。さらに、先の中央教育審議会教育課程企画特別部会「論点整理」で示された「多様な子どもたちを包摂する柔軟な教育課程の在り方」とも親和性が高く、これからの学校教育の在り方を考える上で大変示唆に富む視点を得ることができた。</p>		

